

## 緊急地震速報対応訓練（非告知）

札幌中学校

### 1 ねらい

実際の地震発生時に生徒や教職員がいかに素早くその情報を得るかが重要である。

震源からの距離にもよるが、緊急地震速報から揺れの到達まで、短い場合は数秒しかない。緊急地震速報を見聞きした際には、素早く、適切に自分の身の安全を守ることができるよう、非告知での訓練を実施した。

### 2 想定する災害等

- (1) 種類 地震
- (2) 時刻 11:00頃
- (3) 発生場所 各教室

### 3 避難訓練実施のポイント

#### ◇緊急地震速報の使用

気象庁から公開されている、緊急地震速報受信時対応行動訓練用の動画の音源（今回は十勝沖地震）を使用する。

#### ◇シェイクアウト訓練

「かがんで、頭を守って、動かない」を素早く行い、安全確保する。



#### ◇訓練後のワークシート記入と意見交流

- ①地震がおさまった後、すぐに外に避難しない方がよいと考えられるのはどんな場合があるか。  
→落下物の危険性や、天候などを考慮する。
- ②避難所での生活を想定し、あらかじめ家庭で用意しておきたいものは何か。  
について、グループで意見を交流する。

### 4 児童生徒に指導する内容

- (1)プリントによる緊急地震速報の説明  
緊急地震速報のしくみとシェイクアウト訓練について知る。

### (2)防火扉閉鎖時の下校

火災が発生した際には、防火扉によって避難経路の様子が普段と変わることを知る。



### (3)シェイクアウト訓練の動画視聴

身を守る行動について、動画視聴を通して確認する。



事前に、上記(1)～(3)について毎週1つずつ、3週にわたって、短学活や下校時を利用して行い、避難訓練に向け防災に対する意識を高める。

避難訓練を行うことは事前に生徒に伝えるが、「今月のどこか」というのみで、いつ、どのタイミングなのか具体的な日時は、生徒は分からない状態で実施する。

### 5 教職員の動き

教頭が、放送機器を通じて、緊急地震速報対応行動訓練のアラーム音を流す。教師は、教室や廊下等で、生徒の様子を観察して記録し、反省用紙に記入して次回につなげる。

### 6 今後について

「防災の日」には、毎年、全国一斉シェイクアウト訓練が設定されており、次年度はそれに参加することも検討していく。

今回は、生徒が普通教室にいる場面に限られていたが、慌てることが思わぬ事故につながる実技教科の実習時や、理科の実験時など、適切に対応する必要がある場面の設定も検討していく。